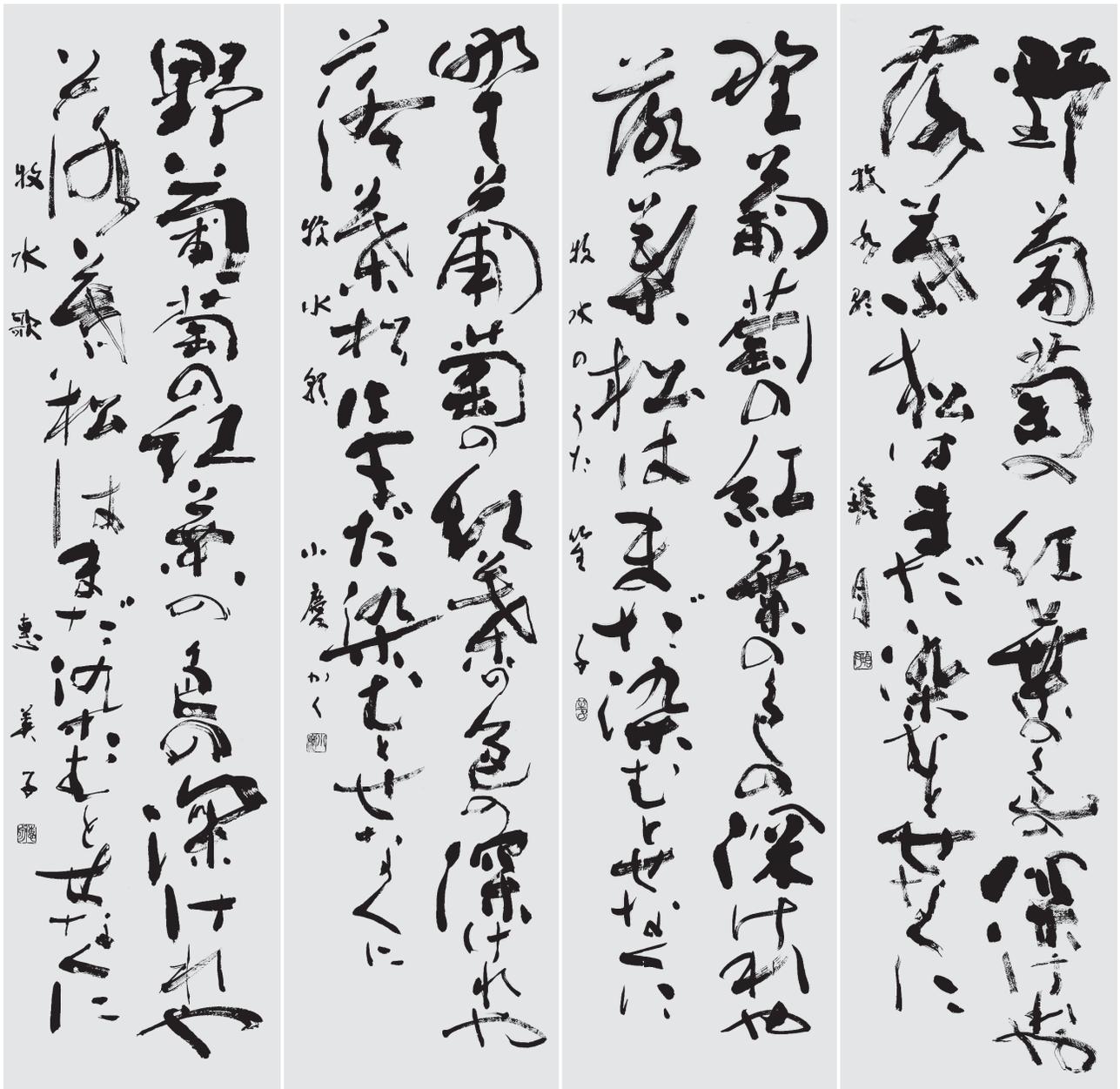


江幡太瓏先生選評



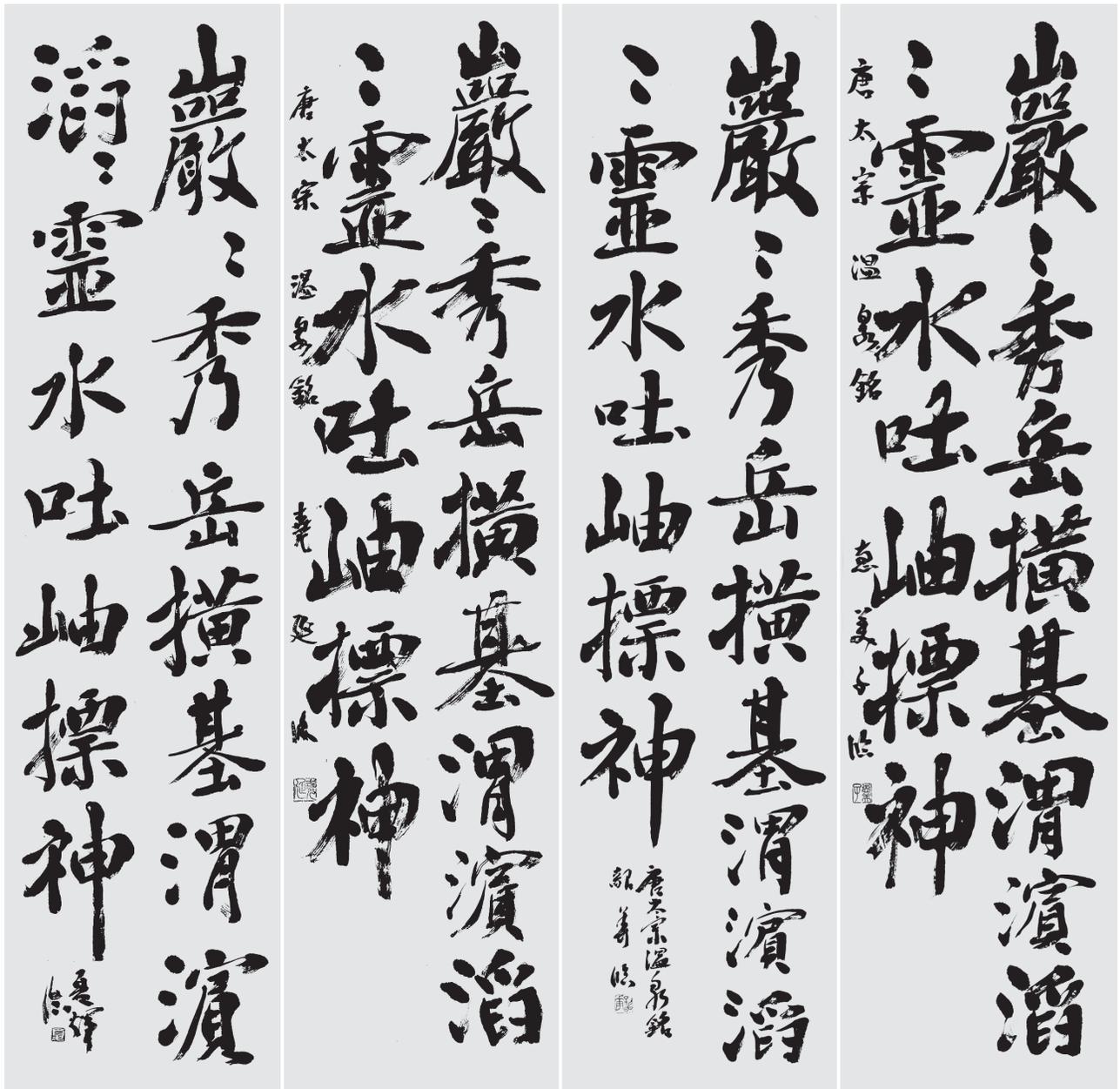
芳賀 瑠月 推選
 筆を自由自在に遣いこなし
 多種多様な線を用い、潤濁
 大小、リズム素晴らしく章
 法を心得た何とも言えない
 味わい深い作品です。長く
 観ていても飽きません。

新宮 笙子 推選
 筆の握り柔らかく貴方もリ
 ズム感抜群です。落筆高く
 浮沈がお見事で線が活き活
 きしています。残念なのは、
 「むとせなく」強弱が少な
 く粒が揃ってしまっただか。

源 小慶 推選
 二行を少し中に寄せ大小、
 潤濁、行の傾きなど他者と
 は違った作風興味深く拝見
 しました。下部の仮名です
 が、大小、太細をつけても
 つと強弱を見せたかった。

菅野 惠美子 推選
 筆をいじめた大胆な渴筆眼
 を引きました。楽しそうに
 書いていますね。大事な事
 です。いやいや書いてると
 作品にすぐ出ます。「まだ」
 もっと墨入れて太くしたい。

伊藤漢仙先生選評



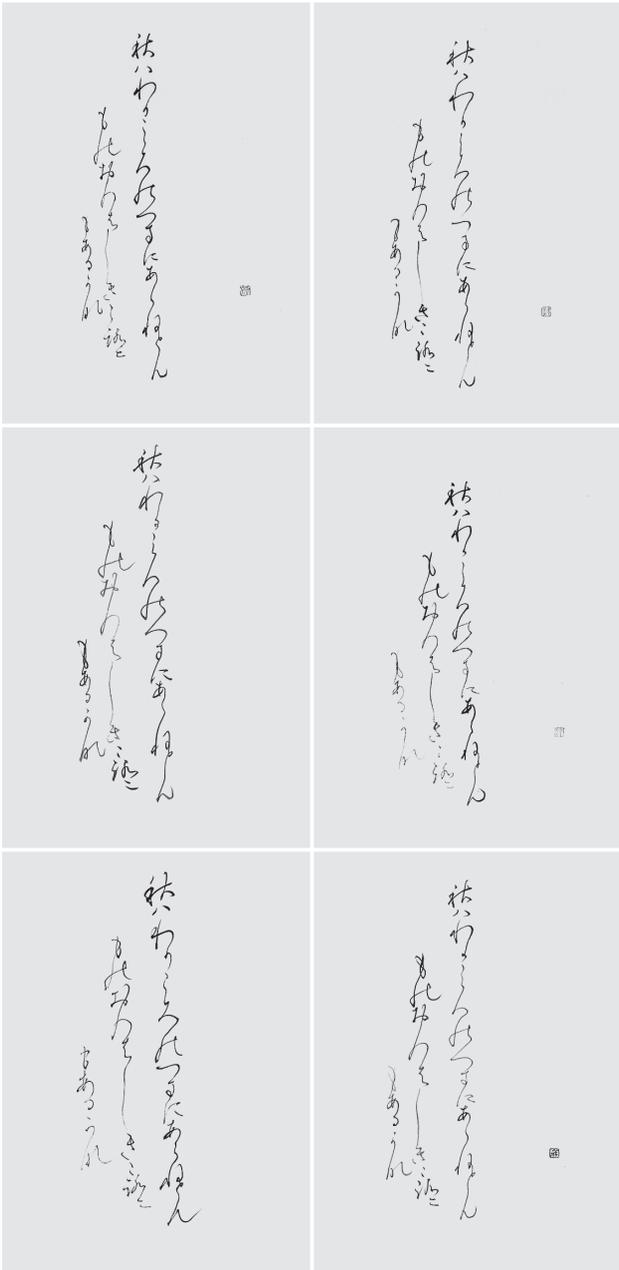
古橋 恵美子 推選
力強く厳しい線質が魅力的です。温泉銘の転折の丸みと大らかさも表現出来ていて、素晴らしい作品になりました。全体のバランスも申し分ありません。

伊藤 韶華 推選
丁寧で柔らかい運筆が、良く原帖の特徴を醸し出していて、雰囲気心地良い。落款も下で纏めて、明るい作品です。参考作品の捉え方も充実しています。

新井 堯延 推選
思いつきの良い送筆が文字の表情を生き生きとさせています。筆の開閉も良く潤渇の変化も自然で、一貫性のある運筆が作品効果を上げていて快作です。

宮 崎 夏輝 推選
淡々と素直に書作されていて好感が持てます。「滔」字を二行目に持つて行く作品構成も面白く、余白の美しい作品に仕上がりました。全体の章法も良。

吉澤真理先生選・下田豊子先生評



菅原柳邨 準八
手本にしっかりと忠実に臨んでいる姿勢はすばらしいが、今少しの修練があれば一段と作品の格を増すと思う。臨書は修練の積み重ねが大切。

大澤あや 七段
臨書作品に大切なことは墨色、墨量共に手本をよく見る修練が要求されます。遅速の変化によって美しさも表現されます。あと一息の精進を。

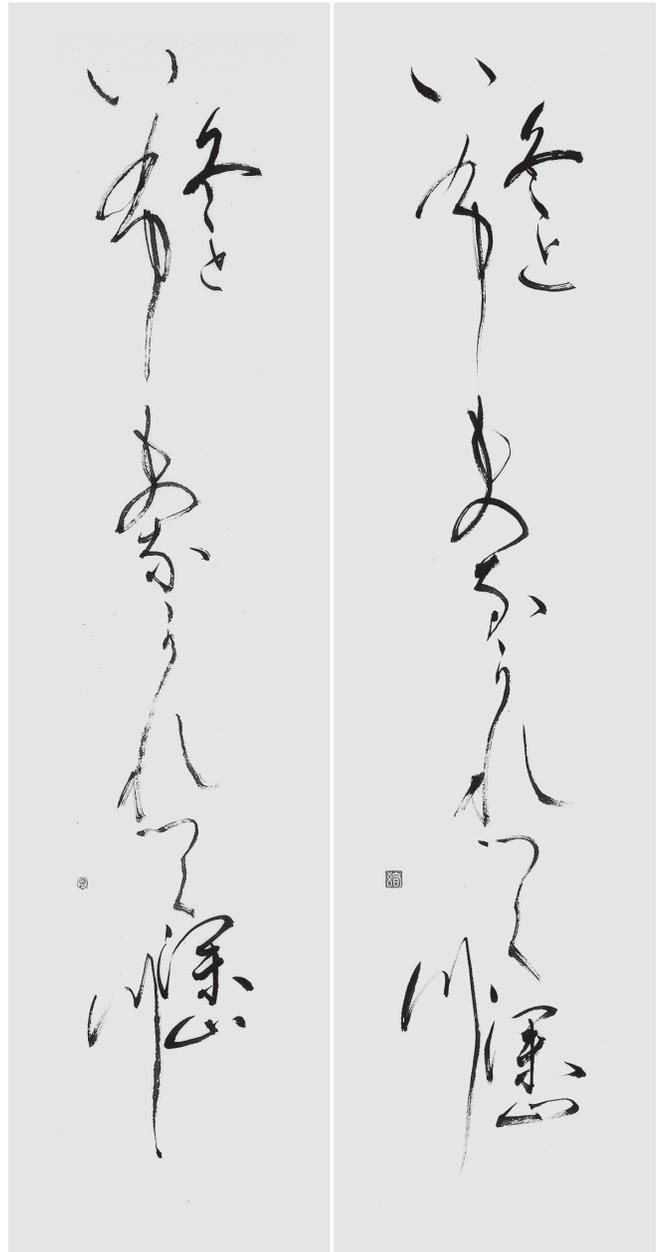
石田雅子 準七
大胆さは見えますが今少しの落ち着きのある運筆が大切。運筆が少々速い様に見えるので自覚して手本とよく向き合ってみて下さい。今後に期待。

木口恵美子 師範
紙面に対する配置はよく出来ていますが少々硬く緊張した運筆が残念です。今少しの伸びと大胆さがあれば申し分ない作品になったと思う。

藤田以津子 師範
筆が少し寝た感じが残念。穂先をしっかりと運筆することが大切。墨量の加減にも今少しの心入れがあれば一段と生きた作品になったと思う。

小塚祥貞 準師
伸び伸びとした運筆は習練度の高さを想います。唯々墨色に少々難があるのは否めない。仮名作品には墨色の美しさと墨量の加減が大切。

久保田淳子先生選評



川島良子 推選
浮沈の効いた豊かな線に魅力がある。紙面に溢れる様な深い風景も表現され、美しい線質と共に渴筆の動きが生きて心洗われる作品になった。

石本絢子 推選
銜いのない自然な運筆がリズムよく山の冷気を包み込んで句意を表現して居る。終句の「川」がやや大きいのか、全体のバランスに溶け込めない感じがする。

武良霜伯先生選評



高橋 海 二段
軽やかな動きが良く線質が澄んでいます。リズムが最後まで通っており、軽妙洒脱、全体を読もうとする意志も感じられ最優秀作です。

達 美峰 師範
紙面の中に線の太細を上手く配し、潤滑強弱の変化も自然で、全体を良く纏めています。大きな動きの中の正確な運筆は最優秀作に相応しい。

泉 香堂 四段
緩やかな筆の動きが確実に紙面を捉えて、真面目な臨書態度です。これに今少しの広がり求めて、弾む様な開放感があれば更に可です。

數本禮奈 準八
運腕大きく線に伸びやかさがある。濃墨で力強く書きさつて論経書詩の筆法の特徴を良く表現しており、素直にその雰囲気をつまえている。

一ノ宮 光 初段
手首柔らかく自在な運腕は見事です。動きの中の渴筆も自然で、墨、筆、心が渾然一体となり、明るく上品な作となりました。

熊谷祐一 五段
明るくて線が冴えており、澄み切った寒空を翔る鳥の様な爽快さがある。気脈の繋がりが良く作品に緊張感があり、生き生きとしている。

蒲澤悠介 準四
しっとりとした線を多用しながら渴筆を適度に配置して、軽重の変化を出している。安定した表現力で技法の確かさが窺えます。

磯野雅子 六段
強くて重厚な線が引かれ、渾身の味わいで線に深みを加えている。少し硬い筆で一本一本の線を大切に、押し込む様な筆遣いが印象的です。

品川直美 準初
一字目から良く流れており、軽く自然な流れの中に明るい表現の作品づくりは見事です。落款が少し大きくなったのは意欲の表れ：でしょうか。

橋本京子 準四
潤筆のしっとりとした趣と渴筆の墨量の変化が素晴らしい。確実な筆致で味わいのある線を生んでいます。落款の墨量は若干過多でしょうか。

砂川俊平 準三
線に厚みがあり、その中に疎密を効果的に配置し字形の安定感、紙面における文字の座りの良さ抜群です。雅印があれば作品が更に引き立ちます。

関井洋子 準六
良く威鋒を駆使しながら温かい線で重厚感があり、直線のしっとりとした線が良く調和しています。落款がやや大きいのと、渴筆が欲しい。